

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



建築・運営・経営に広がる“衛生リスク”への意識変化

8thCALでは、新事業「ペストコンサルティング」に関連し、建築・施工・施設運営それぞれの立場から衛生リスクの実態と意識を把握するため、2025年度にかけて全3回の調査を実施してきました。

このたび、第3回調査結果の公開にあわせ、本号では第1回・第2回とあわせて、施設づくりにおける衛生対策の位置づけの変化についてご紹介します。

【第1回調査】建築・施工現場の実態

一 竣工後ではなく、建築段階での課題として顕在化

建築・施工に携わる実務者の中には、害虫・害獣被害を経験した現場が一定数存在しました。施主から衛生対策の要望を受けた事例も見られ、衛生リスクが「竣工後の問題」ではなく、建築段階から配慮すべき課題として認識され始めている状況が明らかになりました。



第1回調査リリースはこちら ➡

【第2回調査】建設従事者のリスク認識

一 設計前から把握されているリスク

多くの建設担当者が、建築前の段階で害虫・害獣リスクを感じた経験があると回答しました。一方で、それらが設計に十分反映されているとは言えない実態も判明。「認識はあるが、対策検討は後工程」という構造的な課題が浮かび上がりました。



第2回調査リリースはこちら ➡

【第3回調査】施設経営層の経営視点

一 衛生は施設価値と経営成果に関わる要素へ

飲食・宿泊・商業施設の意思決定層調査では、衛生トラブルが売上に影響した経験を持つ施設が一定数存在しました。また、衛生対策をブランド価値の一部と捉える回答が多く、設計段階からの対策が長期的に合理的であるとする傾向も見られました。

発生後の対応負荷や風評リスクの大きさを背景に、衛生は「起きてから対処する」のではなく、発生させないための予防的視点で考える経営テーマへと変化しつつあります。



“NEW”第3回調査リリースはこちら ➡

3回の調査が示す業界の変化

現場ではすでに問題が発生しており、建築前の段階で一部のリスクが認識され、さらに経営層においても事業への影響を意識し始めている傾向が見られます。

こうした流れの中で、衛生は単なる維持管理上の課題ではなく、設計・施工・運営を横断する共通テーマへと位置づけが変わりつつあります。

対策の巧拙以上に、「問題が起きてから対応するか」「起きにくい状態をあらかじめつくるか」という考え方の違いが、施設価値や運営負荷に影響を与える時代に入りつつあるといえるでしょう。

設計段階から衛生リスク対策を組み込むという選択

8thCALの「ペストコンサルティング」は、建築プロセスに衛生視点を組み込み、竣工後のトラブルや運営負荷の軽減を目指す設計支援サービスです。

衛生を後処理の課題にせず、発生しにくい環境を設計段階から整えることが、これからの施設づくりの新たな標準になりつつあります。

衛生を“裏方の問題”から“施設価値を支える要素”へ。

8thCALは、シェルグループ全体で建築と衛生をつなぐ取り組みを推進しています。

その他 実態調査資料

一 トコジラミ対策に関する実態調査公開中

トコジラミ被害の実態や対策課題を整理した調査シリーズ (全4回) を実施し、その内容を白書として公開しています。



白書ダウンロードはこちら ➡



害蟲展season7 開催決定

今年も多くの方の皆さまからのご期待に支えられ、害蟲展はついに season7 を迎えることとなりました。地球上に生きる人間と生物の在り方を見つめ直し、新しい関係性を創造するムーブメントのきっかけとなるべく、今年も展示準備を進めています。

今回のseason7では、より多くの方に害蟲展の魅力を届けるため、プロモーション施策の見直しを行い、発信方法の強化に取り組んでいます。また、参加作家の皆さまがよりじっくりと制作に向き合えるよう、公募期間を前倒しするなど、企画段階からの準備体制も整えています。これらの取り組みにより、展示作品の幅と表現の多様性がさらに広がり、来場者の皆さまに新たな発見をお届けできる season7を目指します。10周年に向けて進化し続ける害蟲展に、ぜひご期待ください。



丸山宗利先生×岡部美楠子（シェルグループ代表）のトークセッション動画



害蟲展season7 作品公募実施中！

応募作品の中から約20点を展示します。
ぜひご応募をお待ちしています。

【賞】

- ・最優秀賞（1点） 賞金30万円、展示、図録掲載
- ・優秀賞（1点） 賞金10万円、展示、図録掲載
- ・入選（約18点） 展示、図録掲載

【エントリー & 1次審査資料提出期間】

2025年12月22日(月)～2026年5月11日(月)17:00

▶▶ [応募要項&お申込みはこちら](#)



スポンサー募集中！

害蟲展では、取り組みにご賛同いただけるスポンサー企業様を広く募集しております。

👉 [ご協賛募集の案内はこちら](#)



皆さまのご協力を、心よりお待ちしております。

👉 [ご登録はこちら](#)



今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目昆虫館館長



モリカワオオアザミウマ

（森川大薊馬）

アザミウマ目クダアザミウマ科

学名：Holurothrips morikawai

体長2mm以下の小さい種がほとんどのアザミウマの中で、4.4～5.9mmほどもある大型のアザミウマ。成虫は微小な翅を持つが、ごく稀に完全な翅を持つ個体が出現するという。本州～沖縄島までの常緑広葉樹林の落ち葉に生息し、菌類を食べると考えられている。

Information

●Pick up 展示会情報

【HCJ2026】国際ホテル・レストラン・ショー

※シェル商事が出展します

日時：2026年2月17日(火)～20日(金)

場所：東京ビッグサイト



👉ブース来場者限定

モニターキャンペーン実施予定！

[詳細はこちら](#)

👉当社ブースNo.W1-B31

[ご来場登録はこちらから](#)



●トコジラぬサポート

トコジラミ予防×駆除サービス受付中

▶▶ [詳細HPはこちら](#)

▶▶ [資料ダウンロード](#)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

